

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります (1) 保健福祉	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防に関する出前講座開催回数 H30:20回→R1:22回 →R2:10回 →R3:26回(AP目標値) 市町村国保特定健康診査受診率(40~74 歳) H30(H28):45.3%→R1(H29):46.5% →R2(H30):47.4% →R3(H31):48.3%(AP目標値) 	<p>① 体の健康づくりの推進</p> <p>ア 地域と連携した「健康づくり宣言」等による機運醸成と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡圏域ヘルスサポートネットワーク会議開催の検討 地域職員連携推進ワーキンググループの開催(8月~9月)⇒中止 企業の健康経営の取組支援制度の周知(通年) <p>イ 児童生徒等の健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 出前講座 1回 138人(4/27 生活習慣病予防の食生活について 県立平舘高校全校生徒) 盛岡教育事務所で実施する「元気・体力アップ60運動」関連事業への歩数計の貸出(8月~11月まで) <p>ウ 働き盛り世代の生活習慣病予防</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩数計、血圧計、体重計など健康管理機器の貸出(9月~10月 1事業所) 生活習慣病予防に関する出前講座 1回 8人 (5/11、生活習慣病予防について、盛岡商工会議所玉山支所) <p>エ 改正健康増進法による受動喫煙防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談対応 2件(電話相談) 飲食店営業者への普及啓発(食品衛生実務者講習会) 5回 57人(4/21、5/24、6/23、7/21、8/25実施) <p>オ 新型インフルエンザ等対策特別措置法改正に基づく対応の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策本部盛岡地方支部会議の開催(4/5、5/10、6/16、7/12、8/3、8/12、8/19、8/26、9/9、9/17、9/30) 盛岡医療圏医療体制会議に出席(8/14) 	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	BCPの観点から一部中止
	<ul style="list-style-type: none"> ゲートキーパー養成数 H30:1,910人→R1:2,234人 →R2:621人 →R3:2,000人(AP目標値) こころの健康づくりに関する出前講座開催回数 H30:21回→R1:33回 →R2:14回 →R3:23回(AP目標値) 	<p>② こころの健康づくりの推進</p> <p>ア 「いのちの教育」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物いのちの教室の開催準備(10/1杜陵小学校)⇒中止 <p>イ 子どもの自殺対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 自殺防止月間(9月)に併せて 盛岡市を除く管内の県立高校及び大学への普及啓発(ポスター、グッズの配布) <p>ウ 働き世代のメンタルヘルス</p> <ul style="list-style-type: none"> 自殺防止月間(9月)に併せ盛岡市以外の管内7市町商工会にポスター・相談窓口一覧を送付し普及啓発を実施 働き盛り世代を対象としたメンタルヘルス出前講座(ゲートキーパー養成研修兼) (5/11、8 人、盛岡商工会議所玉山支所、9/2 77人 岩手町役場職員) <p>エ ハイリスク者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科医による精神保健相談 6回(4/21、5/19、6/16、7/21、8/25、9/15) 参加者11人 断酒会員によるアルコール相談 5回(4/15、5/20、6/17、8/19、9/16) 参加者3人 自殺未遂者への支援体制を充実強化するための第1回警察・消防・市町との事例検討会(8月)⇒中止 第1回ひきこもり家族教室・家族相談(8月)⇒中止 <p>オ 県・市町、関係機関・団体等によるネットワークの構築と生活困窮者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡広域振興局内各部の連携による「社会的に弱い立場にある方々への支援連絡会」の開催⇒中止 ハイリスク者支援従事者研修会(生活困窮者自立支援事業関係者会議) 1回 (4/28 17人) 	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>△</p>	<p>BCPの観点から中止</p> <p>BCPの観点から一部中止</p> <p>BCPの観点から一部中止</p>

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成数(累計) H30:5,867人 →R1:5,478人 →R2:9,181人 →R3:8,100人(AP目標値:R1年度以降) 認知症カフェ設置市町数(累計) H30:6市町→R1:7市町 →R2:7市町 →R3:8市町(AP目標値) 障がい者就業・生活支援センター 支援対象者の就職率 H30:13%→R1:8.8% →R2:12.5% →R3:17%(AP目標値) ひとにやさしい駐車場利用証制度 駐車区画数(累計) H30:447区画→R1:467区画 →R2:468区画 →R3:490区画(AP目標値) 生活困窮者自立支援制度新規 相談件数のうちプランを作成した割合 H30:25%→R1:18% →R2:28.7% →R3:31%(AP目標値) ワーキングインクルージョンの 推進に係るネットワーク会議に 参加する民間事業所等の数(累計) H30:ー→R1:4箇所→R2:7箇所 →R3:11箇所(AP目標値) 地域災害医療対策関係者の 連絡会議への参加団体数 H30:30団体 →R1:会議未開催 →R2:会議未開催 →R3:30団体(AP目標値) 	<p>③ あらゆる世代のみんながいきいきと暮らす地域づくりの推進</p> <p>ア 高度急性期から在宅医療・福祉が提供される体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県における地域医療構想の協議スケジュール、管内の医療機関における病床設置計画等を踏まえて、会議の開催時期、議題等を県庁医療政策室と協議 ・情報伝達訓練及び盛岡地域災害医療対策連絡会議について、新型コロナウイルス感染症対策に伴う業務見直しにより、今年度は中止 <p>イ 保健・医療・福祉が連携した地域包括ケア体制の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡圏域市町高齢者福祉(介護)・地域包括支援センター連絡会議の開催時期、内容等について検討 ・在宅医療介護連携圏域会議事業について、紫波郡医師会と委託契約を締結し、医療介護連携研修会を開催(7月) <p>ウ 医療と福祉の人材育成・確保の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療介護出前講座」を北陵中学校(盛岡市)で実施(7/2 190名参加) ・介護ロボット(アシストスーツ)の貸出意向調査、アンケートを実施(対象40施設) <p>エ 障がい者を地域のみんなで支える包括的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援分科会(毎月1回)4～9月は欠席 ・地域移行分科会(8/24欠席) ※事務局 盛岡広域障害者就業・生活支援センター ・ヘルプマーク 4～8月で188件交付 ・ひとにやさしい駐車場 駐車区画申請0件、変更申請1件増、利用証発行226件 <p>オ 生活困窮者を地域のみんなで支える包括的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立支援事業関係者会議(第1回4/26 17名参加) ・各町支援調整会議(紫波町5/17 矢巾町6/7、7/6 雫石町8/27、葛巻町7/30) <p>・「ワーキングインクルージョン推進事業」【地経費】</p> <ol style="list-style-type: none"> ネットワーク会議の開催(年2回)(9月中止) 就労支援担当者等育成支援(中止) 中間的就労に関する先進地調査(中止) 中間的就労の推進に関する講演及びワークショップの開催(中止) 	<p>△</p> <p>×</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>×</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>×</p>	<p>BCPの観点から中止</p> <p>BCPの観点から会議の開催方法、時期を見直し</p> <p>BCPの観点から欠席</p> <p>BCPの観点から一部中止、一部実施時期及び内容を再調整</p>

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どのような状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<ul style="list-style-type: none"> 結婚サポートセンター入会登録者数(累計) H30:766人→R1:1,036人 →R2:1,140人→R3:1,766人(AP目標値) 子育て世代包括支援センター設置市町数(市町)(累計) H30:1市町→R1:4市町 →R2:8市町→R3:8市町(AP目標値) 放課後児童クラブ設置数(毎年度5月1日時点のクラブ数)(累計) H30:118箇所→R1:124箇所 →R2:131箇所→R3:133箇所(AP目標値) 子どもの学習支援参加生徒数 H30:82人→R1:134人 →R2:124人 →R3:126人(AP目標値) いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数(累計) H30:13社→R1:31社 →R2:61社→R3:53社(AP目標値) 	<ul style="list-style-type: none"> ④ 安心して子どもを生み育てられる環境づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ア 妊娠期から子育て期まで切れ目のない子育ての支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市町の子ども、子育て会議に出席し支援(矢巾町5/27) ・子育て支援担当者連絡会議(第1回7/30開催 第2回中止)。「iーサポ」の周知も実施。 イ 児童虐待の発生予防・早期対応と特別な支援を要する子どもの療育支援 <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会に出席し、市町と連携 <ul style="list-style-type: none"> 代表者会議(紫波町5/24新型コロナウイルス対応のため欠席、矢巾町書面評決、岩手町7/16、雫石町7/29) 実務者会議(矢巾町6/15、8/17) ・盛岡広域圏医療的ケア連絡協議会に出席(8/5 ZOOM会議) ウ 子どもの居場所づくりと学習支援の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・㊦ 学習会の開催(矢巾町33回、紫波町16回、雫石町15回、岩手町31回、葛巻町16回、計111回開催) ・㊩ 巡回訪問型の学習・生活支援の実施(10世帯 5/13以降85回訪問) ・中高生への医療・福祉分野修学資金制度活用による進学就職支援等について周知(8月実施) エ 企業等における子育て環境整備の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・いわて子育てにやさしい企業等認証10件 ・事業者への周知171件(社会保険労務士会68件、食品衛生責任者実務講習会88件、女性活躍推進員による企業訪問15件)、企業訪問は3か所(女性活躍推進員に同行4/28、5/7)実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	
1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくり ます (2)文化スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術コーディネーターの活動件数(2019年からの累計) H30:87件 →R1:123件 →R2:343件 →R3:213件(AP目標値) 若者関連文化イベント来場者数(累計) H30:123人 →R1:145人 →R2:474人 →R3:600人(AP目標値) 総合型地域スポーツクラブ会員数 H30:2,248人 →R1:2,744人 →R2:2,503人 →R3:2,437人(AP目標値) スポーツ施設入場者数 H30:3,115千人(H29値) →R1:3,213千人 →R2:1,829千人 →R3:3,276千人(AP目標値) RWC2019、東京2020オリ・パラを契機とした市町の取組、スポーツへの関心の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の特色や人材等を活用した文化芸術活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ア 文化芸術コーディネーターと連携した活動支援 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 文化芸術コーディネーターによる文化芸術活動に係る相談対応、助言等活動件数(5月～8月:59件) (イ) 文化芸術活動支援ネットワーク会議(第1回:6/11開催) ② 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進や観光分野などへの活用 <ul style="list-style-type: none"> ア 若者による文化芸術活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> 盛岡国際俳句大会実行委員会及び全国高校生短歌大会実行委員会・運営委員会に委員として参画 ③ 生涯スポーツの普及啓発及び推進体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ア 生涯スポーツの普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ニュースポーツ等の体験型イベント等は中止 イ 生涯スポーツの推進体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの活動実態や運営のニーズを把握するため、広域スポーツセンターのヒアリングに同行 ④ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成 <ul style="list-style-type: none"> ホストタウンの受入や聖火リレー・聖火フェスティバルの実施などの取組を支援【地経費】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ △ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPの観点から中止

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
2 豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会をつくります	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動連携促進集会の開催回数(累計) H30:2回 →R1:3回 →R2:3回 →R3:5回(AP目標値) ・水生生物調査参加団体数 H30:41団体 →R1:46団体 →R2:39団体 →R3:39団体(AP目標値) ・排水基準適用の事業場における排水基準適合率 H30:100% →R1:100% →R2:100% →R3:100%(AP目標値) 	<p>① 多様で豊かな環境の保全・保護の推進</p> <p>ア 「水と緑の保全活動促進事業」による住民等と連携した環境保全活動の支援 ・「環境保全活動事業連携促進集会」(葛巻町)は第3四半期(11/4)に開催することで準備⇒中止</p> <p>・「りば～るくんの郷づくりパートナー養成事業」のうち、基礎研修及び現地研修に実施(6/19、参加者12名) パートナー実習実施準備(2団体承認済)</p> <p>イ きれいな空気と水の保全 ・河川(河川6水域 8地点):4月～9月分実施、基準超過地点なし ・地下水(年間22件計画):14件実施済、残り8件は計画見直しにより中止 ・事業場立入(年間58件予定):32件実施。うち1件排水基準超過につき指導中、残り結果良好。 ・水生生物調査参加団体数 17団体、667人参加</p> <p>ウ 関係機関・団体との連携した野生鳥獣対策の推進 ・国の指定する野鳥サーベイランスの対応レベルに応じ、適宜対応(現在対応レベル1 発生のない通常時)</p>	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	BCPの観点から中止
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物の最終処分量 H30:17,006t(2017) →R1:17,274t(2018) →R2:16,930t(2019) →R3:15,522t(2020)(AP目標値) ・産業廃棄物の適正処理率(%) H30:99.7 →R1:99.7 →R2:99.6 →R3:100(AP目標値) 	<p>② 3Rの推進と廃棄物の適正処理の推進</p> <p>ア 地域の実情に応じた家庭系ごみ減量化の取組の支援 ・雫石町環境審議会参加(5/16) ・八幡平市環境審議会参加(7/5、9/17) ・盛岡市廃棄物対策審議会参加(8/4)</p> <p>イ 県央ブロックごみ・し尿処理施設の広域化の支援 ・県央ブロックごみ処理広域化部会に参加(4/15、5/25、6/29、8/3、9/30)</p> <p>ウ 産業廃棄物の適正処理 ・4～9月:計99.9%(2,221/2,223監視指導) ・スカイバトロール実施(6/1) ・建設リサイクルバトロール上半期分実施(6/14、16、各4人参加) ・PCB廃棄物保管事業場立入随時実施(34件立入)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・いわて地球環境にやさしい事業所認定数(累計) H30:79事業所 →R1:78事業所 →R2:81事業所 →R3:84事業所(AP目標値) 	<p>③ 地球温暖化防止に向けた取組の支援</p> <p>ア 再生可能エネルギー導入促進 ・雫石町環境審議会(5/16)、八幡平市環境審議会(7/5、9/17)を通じ再生可能エネルギー導入に関し意見交換</p> <p>イ 温室効果ガスの排出抑制 ・地球温暖化を防ごう隊参加校(9月末時点):5校(盛岡市2校、滝沢市1校、紫波町1校、矢巾町1校)</p> <p>ウ 効率的なエネルギー管理の取組を支援 ・エコスタッフ養成セミナーの開催日、受講者決定(11/17、50人)、 ・4月～9月:地球環境にやさしい事業所新規認定審査5件、更新認定審査10件</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
3 歴史と文化を継承しながら、新たなつながりや活力を感じられる地域づくりを進めます		① 広域連携の推進 ア みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンにおける取組の具体化への支援 ・ 盛岡広域首長懇談会事務検討会議(8/4)及び盛岡広域首長懇談会(8/30)への参画 ・ 市町を対象としたデジタル化等に係る研修会は中止 イ 管内市町の取組の支援 ・ 訪問意見交換会の実施(7月～8月)	△ ○	BCPの観点から中止
	・移住相談会等の参加件数 H30:1件→R1:2件 →R2:1件→R3:2件(AP目標値)	② 移住定住の促進 ・ 盛岡エリアくらしホンネトーク移住相談会の開催(8/29、9/23)(参加者のべ30人)	○	
	・県内外の優良事例の紹介件数 H30:2件→R1:5件 →R2:4件→R3:2件(AP目標値)	③ 地域コミュニティ活動の活性化 ア 市町等を対象としたコミュニティ研修会は中止 イ 学生による日詰商店街における、さんさ踊り披露(6/12) 日詰商店街活性化検討に係る成果発表会の開催(8/4)	△ ○	BCPの観点から中止
	・小中学生向けILC出前授業の実施回数 H30:4回→R1:5回 →R2:5回→R3:8回(AP目標値) ・多文化共生に係る研修会等への参加者数 H30:→R1:99名→R2:開催せず →R3:20名(AP目標値) ・外国人観光客の受入態勢整備に係るセミナーの参加者数 H30:120名(本庁と共催) →R1:99名→R2:開催せず→R3:50名(AP目標値)	④ 多文化共生社会の実現を見据えた取組の推進 ア 国際リニアコライダー(ILC)に係る普及啓発活動の実施 ・ 出前授業の実施(中学校2校)(巻堀中学校6/6、雫石中学校7/7) イ 出前授業等の機会をとらえた外国文化等に係る普及啓発の実施 ・ 多文化共生普及員の委嘱 ウ グリーンツーリズムのインバウンド受け入れ態勢強化のためのセミナーは中止	○ ○ △	BCPの観点から中止
4 過去の教訓を踏まえた防災対策を進めます	・河川改修延長(m)(累計) H30:11,034m→R1:11,213m →R2:12,083m →R3:14,540m(AP目標値)	① 河川改修やダム建設による治水安全度の向上 ア 河川の氾濫による浸水被害等を未然に防止する河川施設の整備 (ア) 木賊川(盛岡市・滝沢市):第1遊水地洪水吐基礎工の工事発注準備を推進し、8月に杭基礎工に着手 (イ) 北上川・松川(盛岡市川崎地区):北上川、松川の護岸推進。松川河川改修工事の工事発注準備を推進し、8月に護岸に着手 (ウ) 北上川(岩手町):天神橋上部工の推進、五日市橋下部工の推進	○	
		イ 築川流域の安全性向上等に資する築川ダムの建設 築川ダム(盛岡市):4月に試験湛水完了、5月堤体工事最終変更、ダム事務所解体着手、6月ダム検査、操作規則改定及び竣工式準備、7月堤体工事検査、竣工式、9月ダム事務所解体完成	○	
	・砂防施設の完成箇所数(箇所)(累計) H30:1箇所→R1:2箇所 →R2:3箇所→R3:4箇所(AP目標値)	ウ 砂防施設や急傾斜地崩壊対策施設の整備 (ア) ヌナヤ沢(葛巻町):渓流保全工を推進 (イ) 高森の沢(滝沢市):詳細設計を推進 (ウ) 上鶉飼の沢(滝沢市):詳細設計発注準備を推進し、6月発注、8月着手 (エ) 平笠東沢(八幡平市):用地補償交渉を推進し、8月契約済。工事用道路工発注準備を推進 (オ) スキー場南沢(八幡平市):用地補償交渉を推進	(ア) × (イ) ○ (ウ) × (エ) ○ (オ) ○	(ア) ヌナヤ沢:通行者の転落防止を図る防護柵の資材納期に時間を要したため。9月→10月完成予定。 (ウ) 管理用道路で、沢の渡河施設(ボックスカルバート)設計に時間を要するため。12月→2月完了予定。
	・急傾斜地崩壊対策施設の完成箇所数(箇所)(累計) H30:→R1:1箇所 →R2:1箇所→R3:1箇所(AP目標値)	(カ) 山岸地区(盛岡市):急傾斜地崩壊対策工事を推進 (キ) 桜山地区(盛岡市):6月詳細設計完了、6月急傾斜地指定、用地測量委託発注準備推進:7月着手	○	
	・緊急輸送道路等における耐震化の完了橋梁数(橋)(累計) H30:→R1:1橋 →R2:3橋→R3:4橋(AP目標値)	② 地震に強い社会資本の整備 ア 緊急輸送道路等の橋梁耐震補強の推進 (ア) 好摩跨線橋(盛岡市):耐震補強を推進 (イ) 外山大橋(盛岡市):耐震補強を推進し、8月完成	○	

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅の耐震診断戸数(戸) (累計) H30:1,310戸→R1:1,336戸 →R2:1,355戸 →R3:1,400戸(AP目標値) ・木造住宅の耐震改修戸数(戸) (累計) H30:104戸→R1:105戸 →R2:107戸 →R3:120戸(AP目標値) 	イ 既存木造住宅の耐震診断や耐震改修の促進 耐震促進運動月間(10月)にあわせ管内市町と連携し、広報活動と戸別訪問を実施:10月実施予定 取組予定 盛岡市、八幡平市、矢巾町、葛巻町 : 戸別訪問実施(市町単独) その他市町 : 広報配布時等チラシ配布、行政区回覧等で周知	—	
	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害危険箇所の合同パトロール実施回数(市町/年) H30:8市町→R1:8市町 →R2:8市町→R3:8市町(AP目標値) 	③ 市町、関係団体、地域住民との連携による防災対応 ア 土砂災害警戒時における速やかな避難体制の構築 6月(土砂災害防止月間)に管内市町、関係機関と土砂災害危険箇所のパトロールを実施済 盛岡市(6/25)、滝沢市(6/8)、雫石町(6/16)、矢巾町(5/31)、紫波町(6/9) 岩手町(6/2)、八幡平市(6/11)、葛巻町(6/23)	○	
	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理能力研修会の参加者数 H30:実施見送り →R1:33人→R2:9人 →R3:40人(AP目標値) ・高病原性鳥インフルエンザ等発生時対応研修会・訓練の参加者数 H30:147人 →R1:162人→R2:37人 →R3:140人(AP目標値) 	イ 職員の危機管理対応能力向上のための取組 (ア) 火山災害に関する研修会を11/24に実施予定 (イ) 高病原性鳥インフルエンザ等発生時対応研修会・訓練の開催 ㊦ 新任者等研修を6月に3回(6/14に1回、6/15に2回開催。参加者39人) ㊧ 実動訓練について中央家保と調整し、机上訓練として11月に実施予定	○	
	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害危険箇所の基礎調査に基づく住民説明会の実施箇所数(箇所) (累計) H30:1,110箇所→R1:1,338箇所 →R2:1,550箇所 →R3:1,556箇所(AP目標値) 	④ 災害関連情報の充実強化 ア 水位周知河川や洪水浸水想定区域の指定 (ア) 諸葛川(盛岡市、滝沢市):河川課において洪水浸水想定区域指定委託を推進 (イ) 岩崎川(矢巾町、紫波町):河川課において水位周知河川指定及び洪水浸水想定区域指定委託を推進 イ 土砂災害警戒区域等の指定とその周知 盛岡土木、岩手土木:盛岡市、葛巻町、八幡平市各地区の住民説明対象住民リスト作成	ア (ア) ○ (イ) ○ イ ×	岩手県緊急事態宣言に伴う在宅勤務の実施により、住民説明に係る町との連絡調整及び住民説明対象住民リスト作成に、個人情報への持ち出し制限につき時間を要したため。 盛岡土木:9月→11月予定 岩手土木:9月→10月 ※住民リスト:盛岡市約600人、葛巻町約100人、八幡平市約500人
5 安心・快適な都市環境・生活環境をつくります	<ul style="list-style-type: none"> ・交通混雑が緩和される街路完了工区(工区)(累計) H30:— →R1:1工区 →R2:1工区→R3:2工区(AP目標値) 	① 高次都市機能の充実 ア 市街地の円滑な交通の確保 (ア) 社の大橋(盛岡市):橋梁上部工を推進 (イ) 鶯飼八人打(滝沢市):用地補償を推進、道路改良発注準備を推進 (ウ) 徳田橋(盛岡市・矢巾町):橋梁下部工(A2橋台)を推進し、8月完成。上部工、取付道路工を推進 (エ) 上矢次(矢巾町):橋梁下部工・上部工、取付道路工を推進	○	
	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手医科大学附属病院へのアクセス道路完了工区(工区)(累計) H30:— →R1:—工区 →R2:0工区 →R3:1工区(AP目標値) 	イ 岩手医科大学附属病院へのアクセス向上 (ア) 徳田橋(再掲) (イ) 上矢次(再掲)	○	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会に対応した県営住宅の建替え・改善戸数(戸)(累計) H30:82戸→R1:106戸 →R2:106戸 →R3:180戸(AP目標値) 	ウ 高齢化社会に対応した県営住宅の建替え・改善の推進 加賀野アパート(盛岡市):3点給湯改善を推進	○	

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
		<p>③ ユニバーサルデザイン・景観に配慮したまちづくりの推進</p> <p>ア 良好な景観の形成や違反屋外広告物の是正指導等 違反屋外広告物パトロール回数 5回 違反広告物指導件数 3件 是正(許可・撤去)件数 0件</p> <p>イ ユニバーサルデザイン、景観形成、ひとにやさしい住宅・建築物の整備促進や普及啓発に取り組む関係機関等の活動支援 景観条例届出等指導 56件、ひとにやさしいまちづくり条例協議等指導 2件 (R3.4月～6月末届出分) 景観条例届出等指導 61件、ひとにやさしいまちづくり条例協議等指導 5件 (R3.7月～9月末届出分)</p> <p>ウ 海外からの訪問者が自動車等で移動する際の利便性向上や安全性確保 ハロウスクール関係者ヒアリング、現地調査、多言語対応路上工事看板開発業務委託発注準備:8月発注、9月着手</p>	○	
	<p>・歩道整備事業完了工区(工区) (累計) H30:ー →R1:1工区 →R2:2工区→R3:6工区(AP目標値)</p>	<p>④ 安心・安全な歩行空間及び自転車通行空間の確保</p> <p>ア 歩道整備や歩行空間確保の推進 (ア) 好摩(盛岡市):用地補償契約を推進 (イ) 大更(八幡平市):用地補償契約を推進、工事発注準備を推進 (ウ) 星山(紫波町):用地補償及び工事を推進 (エ) 赤沢(紫波町):歩道整備を推進:9月完成 (オ) 鶴飼八人打(5㊦再掲) (カ) 下鶴飼(滝沢市):用地補償及び工事を推進</p>	<p>ア (ア) ○ (イ) × (ウ) ○ (エ) ○ (オ) ○ (カ) ○</p>	(イ) 大更:難航地権者から用地の提供を得ることができたため、設計の見直しが生じた。9月→10月発注予定。
		<p>⑤ 污水处理施設の計画的な整備</p> <p>ア 公共下水道、農業集落排水、浄化槽の整備推進 4月に市町が実施する下水道、農業集落排水、浄化槽事業の補助金交付事務を実施(市町において4月～R4.3月まで実施)</p>	○	
	<p>・早期に修繕が必要な橋梁の対策完了数(橋)(累計) H30:ー →R1:3橋 →R2:9橋→R3:15橋(AP目標値)</p>	<p>⑥ 社会資本の計画的な維持管理</p> <p>ア 過去に整備された橋梁の長寿命化の推進 (ア) 彦部橋(紫波町):橋梁補修工(主桁、支承等)を推進 (イ) 松野橋(盛岡市):橋梁補修工(主桁、床版等)を推進 (ウ) 姥懐橋(盛岡市):橋梁補修工(主桁、床版等)を推進 (エ) 好摩跨線橋(盛岡市):橋梁補修工(主桁、支承等)を推進 (オ) 中ノ橋(盛岡市):橋梁補修工(主桁、支承等)発注準備を推進 (カ) みつや橋(盛岡市):橋梁補修工(主塔、支承等)発注準備を推進 (キ) 千刈田橋(紫波町):橋梁補修工(ボックス頂版、支承等)を推進 (ク) R4以降補修予定橋梁の調査設計を実施:7月発注</p>	○	
	<p>・県管理河川・道路の草刈実施ボランティア数(団体) H30:44団体→R1:49団体 →R2:57団体 →R3:44団体(AP目標値)</p>	<p>イ 河川・道路愛護団体や地域住民との協働による維持管理の推進 地域住民との協働による県管理河川・道路の草刈 県管理河川の草刈委託(6月まで着手):盛岡土木:盛岡市(7団体)、滝沢市(1団体)、雫石町(2団体)、紫波町(2団体) 岩手土木:八幡平市(8団体)、岩手町(1団体)、葛巻町(2団体) 県管理道路の草刈委託(6月まで着手):盛岡土木:盛岡市(6団体)、雫石町(3団体)、紫波町(13団体)、矢巾町(4団体)、9月完了 岩手土木:八幡平市(5団体)、葛巻町(3団体)</p>	○	
	<p>・公共土木施設の災害復旧</p>	<p>ウ 公共土木施設災害の早期復旧 (ア) 北上川(盛岡市)2件:工事を推進:6月1件完成 (イ) 北上川(岩手町)1件:工事を推進:9月完成 (ウ) 山形川(葛巻町)2件:工事を推進 (エ) 馬淵川(葛巻町)14件:工事を推進:9月2件完成 (オ) 一般国道281号(葛巻町)1件:工事を推進:7月完成 (カ) 大志田停車場線(盛岡市)1件:工事を推進:6月に道路・大型ブロック積工に着手</p>	<p>(ア) × (イ) ○ (ウ) ○ (エ) ○ (オ) ○ (カ) ○</p>	(ア) 残土処理の搬出距離が長くなり(2km⇒18km)、時間を要したため。9月→10月完成予定。

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<ul style="list-style-type: none"> 建設業の担い手育成・確保 	エ 建設業の担い手育成・確保対策の推進 (ア) 発注者指定型での発注予定2件中1件(護岸工・ICT土工)の発注準備を推進:7月着手、R4.3月完成予定 それ以外も対象工種を含む工事は原則受注者希望型で発注(盛岡:17件中7件、岩手:17件中7件) (イ) 原則として全ての工事を週休2日工事の対象として発注(盛岡:18件中13件、岩手:17件中11件) (ウ) 実施予定9校中2校について実施準備を推進し、7月実施(安代中7/9、玉山中7/16) 8～10月前半に予定していた5校はコロナ及び日程の都合で中止 (オ) 6月に事前打合せを実施、7月に開催(岩手大学7/12)	(ア) ○ (イ) ○ (ウ) ○ △ (オ) ○	(ウ) 岩手緊急事態宣言発令のため、中学校と協議し中止とした。(黒石野中北杜分校、葛巻中) 様々な業種による体験学習のうち、建設業以外の企業が集まらず、学校側より中止の申し出があった。(大宮中、見前中) 日程調整困難。(江刈中)
	<ul style="list-style-type: none"> HACCP導入に関する講習会の受講者数(人)(累計) H30:ー →R1:684人 →R2:1,075人 →R3:1,050人(AP目標値) 	⑦ 食の安全・安心の推進 ・HACCPワークショップ1回開催(4/28 計14人参加) ・食品講習会によるHACCP説明12回開催(4/16、21、5/20、24、6/23、24、7/21、28、8/24、25、9/16、22 合計241人参加)	○	
6 産学官金連携によるIT産業の育成やものづくり産業の振興に取り組めます	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地セミナーの参加者数 H30:110人 → R1:125人 → R2:ー(参考:視聴数2,532回) → R3:155人(AP目標値) 企業誘致関連イベントブースへの来訪者数 H30:114人 → R1:130人 → R2:65人 → R3:120人(AP目標値) 新規立地・増設企業数(R1からの累計) H30:3件 → R1:3件 →R2:10件 → R3:12件(AP目標値) 	① 盛岡広域地域産業活性化基本計画等に基づく企業集積の推進 ア 盛岡広域地域産業活性化協議会による立地促進に係る活動支援【広域】【地経費】 「盛岡広域企業立地セミナー」の開催(2月)等による立地環境の情報発信 イ 地域未来投資促進法岩手県基本計画に基づく、管内事業者の地域経済牽引事業計画策定の支援 管内事業者の計画策定の支援に向けて、企業訪問等を実施(随時)	- ○	R4.2開催予定(促進協事業)
	<ul style="list-style-type: none"> 組込みソフトウェア技術者等養成数 H30:178人 →R1:148人 → R2:136人 → R3:184人(AP目標値) 学生等を対象としたキャリア教育への講師派遣件数 H30:6件 →R1:9件 → R2:10件 →R3:7件(AP目標値) 企業ガイドブック掲載企業数(累計) H30:ー → R1:41社 →R2:95社 →R3:100社(AP目標値) 	② 地域産業を支える人材の確保・育成 ア 新卒人材と県内企業のマッチング支援及びキャリア教育支援【広域】 (ア) 県立大、岩手大と調整中 (イ) 岩手大前期での実施(7/8)、盛ジョビ、進学校等は調整中 (ウ) きたかみ・かねがさきテクノメッセ2021は中止 イ 企業ガイドブックの作成【広域】 (ア) 管内高校への配架等は概ね完了、次年度分の作成は秋以降の予定 (イ) 定着支援等の企業訪問の実施 (ウ) SNSによる企業情報の発信 ウ 県内就業・キャリア教育コーディネーターによる企業及び学校等への情報提供 定着支援に伴う企業訪問により情報の収集等を行っているほか、大学等からも情報収集を進めている エ 中堅人材(経験者)のネットワークづくり【広域】 いわて未来ミーティングは中止	○ ○ △ ○ ○ ○ ○ △	感染症拡大対策等により事業中止 就職セミナー等の情報発信 BCPの観点から事業中止

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問件数 H30:44件 →R1:206件 →R2:202件 →R3:120件(AP目標値) 県内企業間のマッチング件数 H30:ー → R1:3件 →R2:2件 →R3:3件(AP目標値) 経営革新計画承認数(累計) H30:207件 →R1:228件→ R2:252件 →R3:252件(AP目標値) 	③ IT・ものづくり産業の幅広い産業分野への参入促進、起業・創業の推進 ア IT・ものづくり産業の振興【広域】 (ア) IoT導入の普及啓発(随時) (イ) 産業支援機関と連携した管内に集積するIT企業と北上川流域のものづくり企業とのマッチングによる取引拡大の推進(随時) イ 経営革新計画に係る事業活動の支援 (ア) 経営革新計画(承認前)のブラッシュアップ、評価委員会への付議(第1回6月実施、第2回7月実施) (イ) 既承認企業のフォローアップ調査、計画終了状況調査の実施(随時)	○	
7 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域産業を活性化します (1)観光産業	<ul style="list-style-type: none"> 地域で取り組む観光素材開発等の促進件数 H30:0件 →R1:3件 →R2:8件 →R3:2件(AP目標値) 	① 魅力ある観光地づくりと観光客受入環境の向上 ア 広域連携による誘客イベント等の開催 (ア) 秋田県鹿角地域と連携し「桜と雪の回廊・八幡平ドラゴンアイキャンペーン」(4/15～6/13、盛岡広域振興局主催)を実施。スタンプラリー参加施設へのアンケート調査実施 (イ) 秋田県鹿角地域と連携し「紅葉と温泉キャンペーン」(10/1～11/3、十和田八幡平地域広域観光推進会議主催)のパンフレットを事務局の秋田県鹿角地方振興局で作成するも中止 (ウ) 9/24に雫石・田沢湖・角館地域誘客促進事業実行委員会総会を開催し、今年度の雫石・田沢湖・角館エリアの冬のキャンペーン事業を承認(12/1～R4.4/10 事務局:しずくし観光協会) (エ) 秋田県鹿角地域と連携し「十和田八幡平観光物産フェア(仙台市)」を3月に開催予定するも中止(十和田八幡平地域広域観光推進会議主催、事務局:鹿角地方振興局) イ 地域資源を活用した誘客 (ア) 9/25、26のSake-1フェア開催に向け、盛岡八幡平元気まるごと発信事業実行委員会で事業計画を承認するも新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を中止。代替事業としてSNS投稿キャンペーンの実施に着手するも中止 (イ) 「酒蔵めぐりスタンプラリー」を8/9から事業開始。県緊急事態宣言発出に伴い、8/13～9/17の間休止。9/18から再開し、事業期間を10/31まで延長して事業実施中 (ウ) 「岩手県県央圏域ワーケーションシンポジウム」の9/30開催に向け講演依頼等の準備を実施(中止)	ア (ア)○ (イ)△ (ウ)○ (エ)△ イ (ア)△ (イ)○ (ウ)△	(イ) 感染症対策により実施主体の秋田県鹿角地方振興局が中止を決定 (エ) 令和4年度に「桜と雪キャンペーン」を実施しないことから開催中止(事務局:秋田県鹿角地方振興局) (ア) Sake-1フェアはコロナ感染拡大防止の観点から中止。SNS投稿キャンペーンについてもBCPの観点から中止 (ウ) 業務継続計画(BCP)の観点等から中止を決定。
	<ul style="list-style-type: none"> SNSを活用したファン数(累計) H30:5,275人 →R1:5,561人 →R2:6,531人 →R3:6,400人(AP目標値) 	② 効果的な情報発信による誘客の促進 ア 都市圏からの誘客拡大に向けた情報発信 (ア) 県観光協会主催の北海道教育旅行説明会への参加を予定(中止) (イ) 年度末の都営地下鉄中吊り広告実施に向け、年度初めに広聴広報課に掲載申込(掲載中止) イ 盛岡局公式フェイスブックやツイッター、ロコミサイト等のSNSによるタイムリーな情報発信 4～9月に38件ツイート。4～8月のインプレッション384,039(前年同期比41%増)、エンゲージメント14,715(同63%増)、9月末フォロワー数6,883(4月以降227増)。 □	ア (ア)△ (イ)△ イ ○	(ア) コロナ感染拡大から、主催者の県観光協会が現地での説明会を中止し、7/28にオンライン商談会を実施(振興局による参加機会なし) (イ) 地下鉄中吊り広告掲出は、令和4年度に「桜と雪キャンペーン」を実施しないことから実施を中止。仙台市でのイベントも同様の理由で開催中止
	<ul style="list-style-type: none"> 県央圏域での外国人観光客入込数 H30:170千人回 →R1:239千人回 →R2:61千人回 →R3:224千人回(AP目標値) 外国人観光客の受入環境整備に係るセミナーの参加者数(人) H30:0人 →R1:99人 →R2:実施せず →R3:50人(AP目標値) 	③ 国際観光の推進 ア 台湾からの訪日教育旅行の誘致促進 (ア) 5月、7月に、盛岡局、雫石町及び関係機関等で構成する盛岡広域訪日教育旅行推進戦略会議を開催しモニターツアールートを作成するも中止 (イ) 農政部において農家民宿等を対象としたセミナー開催を予定するも中止 (ウ) モニターツアー参加予定の台湾学校に対し、訪台してのプロモーションの実施を予定するも中止 (エ) 国内で開催されるJNTO主催の日台教育旅行交流会への参加を予定するも中止	ア (ア)△ (イ)△ (ウ)△ (エ)△	(ア) 海外との往来再開の目的が立たないことから戦略会議を休止し、モニターツアーも中止 (イ) モニターツアーの中止に伴いセミナー開催も中止 (ウ) 訪台してのプロモーション活動を中止 (エ) JNTOにおいて日台教育旅行交流会の開催中止を決定

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	・スポーツ合宿誘致件数(累計) H30:0件 →R1:2件 →R2:2件 →R3:3件(AP目標値)	④ スポーツツーリズムの推進 ア スポーツ合宿や大会の誘致活動を促進 合宿誘致研修会は中止 イ 地域の特色を活かしたスポーツツーリズム(サイクルツーリズムの推進) 市町、観光などのサイクルツーリズム関係者を対象としたサイクリングコース造成についてのワークショップ開催準備	△ ○	・BCPの観点から中止
7 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します (2)食産業	・農商工連携プロジェクト件数(累計) H30:11件 →R1:13件→ R2:17件 →R3:14件(AP目標値)	① 食産業・地場産業事業者の経営改善と中核人材の育成 能商工連携プロジェクトの公募は中止	△	BCPの観点から事業中止
	・経営革新計画支援件数 H30:14件 →R1:13件 →R2:13件 →R3:11件(AP目標値)	② 商品の高付加価値化及び販路拡大の推進 若手事業者等によるビジネス化に向けたプロジェクトは中止	△	BCPの観点から事業中止
	・地域内の生産者と飲食店をつなぐ交流イベントなどの平均参加事業者数 H30:32社 →R1:20社→ R2:18社 →R3:35件(AP目標値)	③ 県産食材の地産地消促進 ア 生産者と飲食店の連携の促進 商談会を2月に開催予定。 イ 地産地消の情報発信 SNS等を用いて、第三者認証を取得した飲食店等の情報発信を行った。	△ ○	産地見学会は感染症拡大対策等の観点から中止 食関連イベント等の情報発信
	・商談会参加事業者数(累計) H30:21社 →R1:32社→ R2:36社 →R3:23社(AP目標値)	④ 海外への販路拡大に取り組む事業者の支援 ア 台湾への輸出拡大支援 物産展開催(R4.1月)に向け、8月に事業者募集を行った。 イ 輸出拡大支援 県内港湾の活用促進に向けたセミナーは中止	○ △	BCPの観点から事業中止
	・広域連携プロジェクト参加人数(累計) H30:34人 →R1:46人→ R2:46人 →R3:39人(AP目標値)	⑤ 観光等と連携した食産業・地場産業の振興 関係市町や施設等にガイドブック(令和2年度作成)を配布し、周知を実施。	○	

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
8 米・園芸・畜産のバランスがとれた農業の持続的発展と活力のある農村づくりを進めます	<p>・法人経営体数(累計) H30:168経営体 →R1:178経営体→R2:188経営体 →R3:171経営体(AP目標値)</p> <p>・中心経営体等への農地集積面積 H30:30,158ha →R1:31,379ha→R2:31,217ha →R3:32,350ha(AP目標値)</p>	<p>①次世代の地域農業を担う経営体の育成</p> <p>ア 企業の経営体の育成</p> <p>(ア) マスタープランの着実な実践に向けた地方推進会議の開催(6/30、43人)</p> <p>(イ) 農地利用集積・集約化と連動したほ場の大区画化等の条件改善を推進、経営体育成基盤整備事業(3地区)の事業推進</p> <p>(ウ) 重点指導農業者(33経営体)への専門家派遣等による課題解決支援、現地支援チーム会議の開催(5月、8月)</p> <p>(エ) ほ場整備計画地区(2地区)における農地利用集積・集約化に向けた合意形成の推進</p>	○	
	<p>・新規就農者数(単年度) H30:80人→R1:79人 →R2:74人→R3:67人(AP目標値)</p>	<p>イ 担い手の確保・育成</p> <p>(ア) 農業法人と農業大学校生との情報交換会開催準備(6月)</p> <p>(イ) 次世代の担い手確保に向けたスマート農業学習会及び盛農生を対象としたスマート農業実践研修会は中止</p> <p>(ウ) 新規就農者の技術習得支援(74名)、新規就農サポートチーム会議の開催(3市町、4回)</p> <p>(エ) ロボット草刈り機の実証試験を実施(6～10月)、ロボット草刈り機現地見学会、多機能ロボット(追従移動機能)の実証試験は中止</p> <p>(オ) 農福連携に係る体験見学会・学習会は中止。各市町の取組状況アンケートを実施(8月)</p>	(ア)○ (イ)△ (ウ)○ (エ)△ (オ)△	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした
	<p>・女性農業者の経営参画割合 H30:34.5%→R1:36% →R2:37.5%→R3:38.0(AP目標値)</p>	<p>ウ 女性農業者の活躍促進</p> <p>(ア) 若手女性農業者の経営参画を推進する研修会の開催(第1回:7/1、参加11名)、第2回研修会は11月に延期</p> <p>(イ) 幸せ創る女性農林漁業者育成事業を活用する女性グループの活動支援(3グループ)</p> <p>(ウ) 家族経営協定の締結推進に向けた実態調査、関係機関との推進打合せを実施(7月)、家族経営協定締結支援4件</p>	○	
	<p>・銀河のしずく作付面積 H30:1,037ha →R1:1,138ha→R2:1,145ha→R3:1,210ha (AP目標値)</p> <p>・低コスト・省力技術の導入経営体数 H30:— →R1:2経営体 →R2:4経営体→R3:6経営体(AP目標値)</p> <p>・水田整備面積 H30:1,201ha→R1:1,239ha →R2:1,265ha→R3:1,292ha(AP目標値)</p> <p>・農村地域の防災・減災対策施設数 (累計) H30:0箇所 →R1:0 →R2:0 →R3:2(AP目標値)</p> <p>・農業水利施設の長寿命化対策施設数(累計) H30:17施設 →R1:20 →R2:22 →R3:25(AP目標値)</p>	<p>②生産性・市場性の高い産地づくり</p> <p>ア 水田フル活用による産地力向上</p> <p>(ア) 「銀河のしずく」の高品質安定生産技術定着に向けた生産者マイスターの認定(6/16、22名)、生産者研修会の開催(7/13)、認知度向上・消費拡大PRの実施(4～9月)</p> <p>(イ) 水田への園芸等高収益作物(加工用たまねぎ、にんにく、ズッキーニ)の導入・拡大に向け巡回指導や現地見学会を実施(4～9月)</p> <p>(ウ) 生産コストの低減や高収益作物導入に向けた計画的な基盤整備、経営体育成基盤整備事業(3地区)の事業推進</p> <p>再掲</p> <p>(エ) 洪水被害防止に向けた水路の整備、農村災害対策整備事業等の事業推進</p> <p>(オ) 農業用水の安定供給のための保水管理の推進、基幹水利施設ストックマネジメント事業(11地区)の事業推進</p>	○	

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	<ul style="list-style-type: none"> 販売額3,000万円以上園芸農家戸数 H30:28戸 →R1:34戸 →R2:36戸→R3:31(AP目標値) 環境制御技術、ICT等革新的技術の導入経営体数 H30:3経営体 →R1:6 →R2:7→R3:8(AP目標値) 主な農産物の輸出額 H30:31,610千円→R1:22,573千円 →R2:19,402千円→R3:34,300千円 (AP目標値) 	<p>イ 園芸の収益性向上</p> <p>(ア) 園芸振興支援チーム会議の開催(4月～、7回)、東部地域県版GAP園芸部会が新たに県版GAP認証制度登録 (イ) 環境制御技術の普及拡大に向け重点経営体への技術支援や、労務管理体制の整備に向けた助言等を実施(6経営体、計70回)、県主催の先進地・管内の視察研修、環境制御導入技術研修会は中止 (ウ) 土地利用型野菜のスマート農業技術の導入による生産性向上・省力化に向けた支援(4～8月) (エ) 海外物産店向けPRパンフレットの作成準備 (オ) 果樹凍霜害被害調査(4～6月) りんご凍霜害に係る復旧事業要望調査(6月)、対策会議(7～9月、3回)</p>	<p>(ア)○ (イ)△ (ウ)○ (エ)○ (オ)○</p>	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした
	<ul style="list-style-type: none"> 1戸当たり飼養頭数(肉用繁殖雌牛) H30:8.3頭 →R1:8.5→R2:8.5 →R3:9.6(APの目標値) 1戸当たり飼養頭数(経産牛) H30:31.2頭→R1:31.7→R2:31.6 →R3:34.3(APの目標値) 外部預託施設利用頭数 H30:2,118頭→R1:2,281 →R2:2,222→R3:2,000(APの目標値) 	<p>ウ 畜産の収益性向上</p> <p>(ア) 補助事業活用による施設整備(1戸完了、2戸契約)、事業計画策定支援(3戸、延べ14回)、フォローアップ(2戸、延べ6回) (イ) 八幡平市繁殖・育成センター整備工事:施設工事工程会議で進捗確認(5～9月、5回) 施設運営ワーキンググループで、作業体系整備や飼料基盤確保について助言・指導実施(4月～、4回) (ウ) 牛群管理システム(ファームノートカラー)の活用実証(4月～:3戸、8月～酪農1戸) (エ) 定期巡回による繁殖改善指導(13戸、延べ12回)、子牛の発育改善指導(4戸、延べ5回)</p>	○	
	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体での被害防止活動の取組を行う地区数(累計) H30:1地区→R1:2地区 →R2:2地区→R3:3地区(AP目標値) 	<p>エ 家畜伝染病対策、野生鳥獣被害対策</p> <p>(ア) 養豚場の農場立入指導の実施(4/33農場)、養鶏場の農場立入指導の実施(1回目:55/67農場)、CSFワクチンの初回接種完了(39農場) (イ) 広域支部員の初任者対象に鳥インフルエンザ等研修会の開催(6/14、15 40名受講) (ウ) 鳥獣被害防止対策モデル地区(外柵沢地区)の状況について聞き取り調査(7/28、雫石町) (エ) 野生鳥獣被害対策に係る意識啓発動画、電気柵設置解説動画を下半期の制作(下半期)【地経費】</p>	○	
	<ul style="list-style-type: none"> 「地域ビジョン」策定集落数(累計) H30:3集落 →R1:3→R2:3→R3:6(AP目標値) 水田における地域共同等の取組面積割合 H30:73.0% →R1:73.1→R2:73.3 →R3:74.0(AP目標値) 主要産直の年間売上額 H30:4,963百万円 →R1:4,737百万円→R2:4,872百万円 →R3:5,431百万円(AP目標値) 農林漁業体験受入人数 H30:25,496人 →R1:29,211人→R2:11,686人 →R3:23,400人(AP目標値) 	<p>③ 農村の地域活動の促進</p> <p>ア 地域資源の維持保全による農村の活性化</p> <p>(ア) 盛岡市築川地区の地域ビジョン策定に向け、県立大学と委託契約締結(9/2)、大学との連携によるビジョン策定支援 (イ) 中山間地域等直接支払制度の活用に向けた事務支援。紫波町では水分棚田含む6地域が指定棚田地域に認定(9/7) (ウ) 生産条件の不利地域の着実な基盤整備を実施、中山間地域総合整備事業(2地区)の事業推進 (エ) 多面的機能の維持・向上に係る取組の継続・導入に向けた事務を支援。新規活動希望地区(3地区)の計画認定支援</p> <p>イ 農村ビジネスの振興</p> <p>(ア) 産直組織の運営体制強化・経営力強化に向けた支援、改正食品衛生法の内容を主要産直に周知(7～8月) (イ) 起業活動・経営の発展に向けた支援、6次産業化志向事業者(2経営体)の個別相談対応</p> <p>ウ グリーン・ツーリズムの受入体制強化、郷土食文化等の情報発信</p> <p>(ア) インバウンド受け入れ態勢強化のためのセミナーは中止 (イ) 「食の匠」の掘り起こしと伝承交流活動の支援、新たな食の匠の認定に向けた地方推薦会議を開催(7/6) (ウ) 農村と都市の交流及び移住を促進するため、移住相談会(オンライン)開催支援(8/29、9/23、参加者6名)、植物園(ラベンダー)整備に向けた委託計画の締結(8/19)、ラベンダーの植え付け(9/28)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>(ア)△ (イ)○ (ウ)○</p>	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
9 森林資源の循環利用促進 ともうかる林業・木材産業の構築を進めます	① 森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保 ・森林経営計画認定面積 H30:48,994ha → R1:48,539ha →R2:49,118ha → R3:51,631ha(AP目標値) ・間伐材利用率 H30:42.0% → R1:45.4% →R2:48.6% →R3:40.7%(AP目標値) ・計画的な路網整備(林道)(累計) H30:828km → R1:828km →R2:829km → R3:829km(AP目標値) ・山地災害防止機能が確保された集落数(累計) H30:94箇所 → R1:97箇所 →R2:97箇所 → R3:99箇所(AP目標値)	① 森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保 ア 森林経営計画に基づく森林整備の促進 (ア) 経営計画未作成者の情報収集(8月)と現地調査の実施(9月) 新型コロナウイルス感染状況の影響によるプランナー試験延期により、勉強会の開催中止 (イ) 森林整備事業等実施予定地の現地確認及び補助金申請事務に係る指導(4～9月 計34回)、39件の補助金交付を決定 (ウ) 森林経営計画の見直し(第1回:6月)及び事業(下刈、除間伐)の発注完了(6～8月) (エ) 森林病害虫等駆除事業の春駆除221m3の実施(4月～6月) イ 搬出間伐の促進による間伐材の利用促進 市町及び森林組合、事業体を対象とした打合せ会議の開催(5/14) 搬出間伐を前提とする合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業、林業成長産業化総合対策事業において、14件の補助金交付を決定。 ウ 生産基盤を強化する林道等の計画的な路網整備 (ア) 林道4路線の工事進捗管理の実施 (イ) 打合せ会議で新規路線計画にかかる資料を市町へ提供(5/14) (ウ) 森林組合及び林業事業体から要望のあった作業道整備予定地について、現地指導の実施、8件の補助金交付を決定 (エ) くずまきカラマツフォトコンテスト2021の実施(募集期間 12月20日まで) エ 山地災害を防ぐ治山事業の計画的な推進 (ア) 8地区の工事8件中7件、委託業務4件中3件の契約締結 (イ) 今年度実施予定の治山施設点検の全点検が終了(38台帳) オ 林福連携による新たな人材の確保と新技術の導入 (ア) 林福イーハートブ通信10号の発行(9/7) (イ) 福祉施設利用者・生活困窮者の植栽作業体験(4/28 矢巾町) 植栽体験に関するアンケート調査の実施(福祉施設2箇所、矢巾町福祉課・生活困窮者2名から回答済) 林業事業体とトライアル雇用の打合せ(8/23) (ウ) アシストスーツの3事業体への貸し出し(8/26)、アンケート調査の実施(回答期限:12/15) (エ) 植栽現場におけるドローンを活用した苗木運搬実証試験の実施(5/31松尾地区、7/2安代地区)	○	
	② 地域材の利用促進 ・店舗等の木質化支援件数 H30:ー → R1:1件 → R2:2件 → R3:3件(AP目標値)	② 地域材の利用促進 ア 商店街のイベント等において木質化した店舗等のPR(随時) 葺出町商店街において毎週土曜日に開催されるイベントでの木製長椅子の設置による県産木材PRの実施 イ 新盛岡バスセンターへの県産木材製品の設置【地経費】 県産木材製品の作製について、委託業者と契約の締結(8/3)	○	
	③ 原木しいたけ産地の再生 ・原木しいたけ(乾生)植菌本数 H30:426千本 → R1:365千本 →R2:343千本 → R3:443千本(AP目標値)	③ 原木しいたけ産地の再生 リモートセンシング等新技術の活用によるコナラ資源の把握調査の実施(7～3月)【新規】【地経費】 委託業者と契約を締結(6月)、森林計画図や森林簿、紫波町のコナラ林現況調査図を業者へ提供(7月) コナラ林調査業務中間協議、web会議(8月)	○	

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
10 地域産業の特性に応じた産業人材の確保・育成とやりがいを持って働くことができる労働環境の整備を進めます	<p>・学生等を対象としたキャリア教育への講師派遣件数【IT・ものづくり再掲】(件) H30: 6件 →R1: 9件→ R2: 10件 →R3: 7件(AP目標値)</p> <p>・企業ガイドブック掲載企業数【IT・ものづくり再掲】 H30: — →R1: 41社 →R2: 95社 →R3: 100社(AP目標値)</p>	<p>① 地域産業を支える人材の確保・育成 ア 新卒人材と県内企業のマッチング支援及びキャリア教育支援【広域】【6②再掲】 (ア) 県立大、岩手大と調整中 (イ) 岩手大前期での実施(7/8)、盛ジョビ、進学校等は調整中 (ウ) きたかみ・かねがさきテクノメッセ2021は中止 イ ものづくり人材育成(工場見学等)【広域】【6②再掲】 工場見学の時期、企業等を調整中。 ウ 中堅人材(経験者)のネットワークづくり【広域】 いわて未来ミーティングは中止 エ 企業ガイドブックの作成【広域】【6②再掲】 (ア) 県内就業・キャリア教育コーディネーターの企業訪問による、企業ガイドブックの調製、管内高校への配架、HPへの掲載(4月) (イ) 令和3年度に追加掲載する企業の選定、企業訪問による掘起し(7月) (ウ) SNSによる企業情報の発信</p>	<p>○ ○ △</p> <p>○ ○ △</p> <p>○ ○ ○</p>	<p>感染症拡大対策等により事業中止</p> <p>BCPの観点から事業中止</p> <p>就職セミナー等の情報発信</p>
	<p>・若年者を対象とした就職ガイダンス等の開催件数 H30: 2件 →R1: 1件(中止1件) →R2: 4件 →R3: 2件(AP目標値)</p>	<p>② 若年者等の就業支援と人材の確保 ア 高卒向け就職面談会、専門学卒向け就職ガイダンスの開催 盛岡市等関係機関の連携による「もりおか高校生就職面談会(高卒向け)」を10月19日に開催。 「もりおか就職ガイダンス(専門学卒以上向け)」を3月に開催予定 イ 新規高卒者の希望と適性に合わせた県内事業所等への就職支援 就業支援員による、面談や面接指導等を通じた応募先選定の支援や選考試験のアドバイス等を実施。 ウ 企業訪問等による新規高卒者の職場定着支援 管内新規高卒者を採用した管内企業に対し、定着支援を目的とした企業訪問等を実施(246事業者) エ 県内就業・キャリア教育コーディネーターによる企業及び学校等への情報提供【6②再掲】 企業訪問により企業情報の収集等を行ったほか、5/26に盛岡大学での企業紹介キャラバン(岩大・県大は後期)での情報収集の実施。 オ インターンシップ事業への参加を定着支援を目的とした事業者訪問を通じて事業者に呼びかけたほか、就業支援員による高校への参加呼びかけを行った。</p>	<p>○</p>	
	<p>・管内企業におけるいわて働き方改革運動参加事業所数(累計) H30: 114社 →R1: 162社 →R2: 276社 →R3: 444社(AP目標値)</p>	<p>③ 企業における雇用・労働環境整備の促進 企業訪問時にリーフレットで働き方改革の普及啓発を実施</p>	<p>○</p>	
	<p>・障がい者就業・生活支援センター支援対象者の就職率【保福再掲】 H30: 13% →R1: 9.4%→R2: 12.5% →R3: 17%(AP目標値)</p>	<p>④ 多様な雇用の場の確保と就労の促進 関係機関と連携した特別支援学校等の生徒の就職支援及び定着支援就労支援分科会への参加</p>	<p>○</p>	

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
11 産業経済活動を支える交通ネットワークを整えます	・道路整備事業完了工区(工区) (累計) H30:ー →R1:1工区 →R2:2工区 →R3:3工区(AP目標値)	① 物流・交流ネットワークの整備 ア 県央圏域内外との交流を促進するネットワークの整備 (ア) 一本木(滝沢市):道路改良工を推進 (イ) 佐比内(八幡平市):用地補償契約を推進、国有保安林解除:9月解除、工事を推進:6月発注、8月道路改良工に着手 (ウ) 星山(5④再掲)	○	
	・復興支援道路の完了工区(工区) (累計) H30:ー →R1:0工区 →R2:1工区 →R3:1工区(AP目標値)	② 沿岸地域の復興・振興を支える道路の整備 ア 復興支援道路の整備 大坊の2(八幡平市):令和2年12月供用開始、適切な維持管理	○	
	・救急搬送等道路完了工区(工区) (累計) H30:ー →R1:0工区 →R2:1工区 →R3:2工区(AP目標値)	③ 医療機関への救急搬送ルートの整備 ア 広域的な救急搬送を支える道路整備 (ア) 一本木(11①再掲) (イ) 佐比内(11①再掲) (ウ) 徳田橋(5①再掲) イ スマートインターチェンジ及び周辺道路の整備 上矢次(5①再掲)	○	
12 県税の適正かつ公平な賦課徴収を行います。	① 適正・公平な課税の推進 ア 個人事業税 定期賦課(確定申告分)…8月課税 随時課税(修正申告、更正・決定分)…資料収集月の翌月課税(要調査分は翌々月課税) イ 法人三税 外形標準課税法人等の自主決定調査…R4.2月末完了 ウ 不動産取得税 建築分…年内完成分は年度内課税 売買等移転分…資料収集月の翌月課税 錯誤等の要調査分…毎月調査 エ 自動車税 納税通知書送達…10月末完了 オ 軽油引取税 課税捕捉調査…2月末までに完了	① 適正・公平な課税の推進 ア 個人事業税 【主な取組実績】 ・定期賦課 資料収集及び事業判定等を実施し、課税処理を行った。 8月課税 6,326件 ・随時課税 9月末現在 153件課税 イ 法人三税 【主な取組実績】 ・外形標準課税法人、非課税事業等を行う法人、連結申告法人について自主決定調査を行っている。 ウ 不動産取得税 【主な取組実績】 ・建築分 9月末現在 551件課税 ・売買等移転分 9月末現在 2,495件課税 ・錯誤等の調査 発生の都度調査の上、課税している。 エ 自動車税 【主な取組実績】 ・要課税台数 224,881台中 224,868台について課税済(調査中 13台)。 オ 軽油引取税 【主な取組実績】 ・軽油販売業者、地下タンク保有者、免税軽油使用者について調査を実施している。	○ ○ ○ ○ ○	

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項 目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
	② 滞納整理の促進による収入未済額の縮減 ア 個人県民税の収入未済額 H30:4億4,276万円 →R1:4億0,374万円 →R2:3億6,237万円 →R3:3億5,693万円	② 滞納整理の促進による収入未済額の縮減 ア 個人県民税 【主な取組実績】 ・各市町と随時情報交換し、滞納整理について助言や指導を行っている。 令和2年度歳入分 個人県民税の収入未済額 3億6,237万円となり目標を達成した。 ・盛岡地区税務協議会地方税部会の開催を見合わせ、関係機関に資料を送付した。 (1)新任税務職員のための資料(7月12日送付) (2)地方税部会会議の代替資料(7月14日送付) ・職員の能力向上を図るため不動産公売に係る研修会を開催した(8月5日リモートで実施)。	○	
	イ 個人県民以外の収入未済額(徴収猶予を除く) H30: 9,914万円 →R1:1億1,111万円 →R2:1億2,067万円 →R3:1億1,886万円	イ 個人県民税以外 【主な取組実績】 ・令和2年度歳入分 文書催告や差押処分を行い収入未済額縮減に取り組んだ。 個人県民税以外の収入未済額 1億2,067万円となり目標を達成した。 ・令和3年度歳入分 財産調査に基づき滞納処分を執行し収入未済額の縮減に取り組んでいる。	○	
	ウ 自動車税収入未済件数 H30:1,331件 →R1:1,187件 →R2:1,036件 →R3:1,020件	ウ 自動車税 【主な取組実績】 ・令和2年度歳入分 文書催告や差押処分を行い収入未済件数の縮減に取り組んだ。 自動車税の収入未済件数 1,036件となり目標を達成した。 ・令和3年度歳入分 年間計画に即して催告等を実施している。	○	
		③ 災害対応税制の適正な運用 ・東日本大震災津波に係る特例措置 速やかに非課税等を適用している。 ・新型コロナウイルス感染拡大に係る特例措置 速やかに徴収猶予を適用している。また徴収猶予期限の1か月前周知を実施している。	○	
13 会計事務処理を適正に 執行します	① 適切な会計事務処理の実施	① 会計実地検査、支出審査等を通じて適正かつ効率的な執行を確保 ア 会計事務処理に係る助言、指導の実施(随時) イ 会計実地検査(9～12月) R3計画:21機関 ウ 物品等抜き打ち現場確認・指導の実施(随時) エ 緊急払及び支払不能更正の縮減に向けた支払事務の指導(随時)	○	
	② 会計事務担当者の資質の向上	② 会計事務に係る研修会の実施と、適切な助言、指導を行うことによる会計事務処理能力の向上 ア 会計事務研修会の実施 開催時期:9月15日開催予定(中止) 対象:所属長及び決裁者 内容:「会計事務の留意事項について」ほか(予定) イ 会計事務担当会議の実施 (第1回) 開催時期:6月4日 出席者37名 対象:会計事務に携わる実務担当者 内容:「契約事務について」ほか ウ 管内公所に対する出前研修の実施(随時) エ 初任者研修会 開催時期:7月5日 出席者34名 対象:会計事務実務経験3年以上の職員及び技術職員 内容:「会計のしくみと支出事務の注意点」	ア △ イ ○ ウ ○ エ ○	ア BCPの観点から中止とした。

令和3年度盛岡広域振興局業務方針進捗状況

資料1

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	令和3年度の主な取組実績と今後の取組(第2四半期現在)	評価	中止(△)・遅れ(×)がある場合、その理由等
14 地域課題にチャレンジする職員を育成します	① 基本的な執務能力の向上	① 職員向け一般研修の実施 ア 仕事の進め方 局長による若手職員研修会(9/29開催。参加者34人) イ 安全管理 交通安全研修 (7/15に1回目。所属長訓示及び教材視聴。参加者301人)	○	
	② 地域課題・行政課題等の発見、行政品質向上	② 職員のデジタル化対応の取組 ア 多くの職員がデジタル化の知識を深めるため、県が今後実施する研修会へ参加を促進 イ Zoom等のウェブ会議システムを多数の職員が主催し活用できるよう、担当が随時支援対応	○	
	③ 危機管理能力の向上 【4③の再掲】 ○危機管理能力研修会の参加者数 H30:実施見送り→ R1:33人→R2:9人→R3:40人 (AP目標値) ○高病原性鳥インフルエンザ等発生時対応研修会・訓練の参加者数 H30:147人→ R1:162人→R2:37人→R3:140人 (AP目標値)	③ 災害担当職員向け危機管理対応研修の実施 ア 火山災害に関する研修会を11/24に実施予定 【4③の再掲】 イ 高病原性鳥インフルエンザ等発生時対応研修会・訓練の開催【4③の再掲】 (ア) 新任者等研修を6月に3回(6/14に1回、6/15に2回開催。参加者39人) (イ) 実動訓練について中央家保と調整し、机上訓練として11月に実施予定 ウ 総合防災訓練を10/25に実施予定	○	
15 人と動物の共生を推進します。	・猫の引取頭数(R2年度比) R3:90% →R4:70% →R5:50%	人と動物の共生推進【新規】【地経費】 ・連絡会議立上げに向けて有識者(成城大学打越教授)と情報交換(ZOOM:7/19、8/6)⇒中止 ・「社会福祉と動物愛護を考えるフォーラム」開催準備(10/24)⇒中止 ・動物譲渡会に併せた適正飼養講習会準備(9/23)⇒中止 ・動物いのちの教室の開催準備(10/1杜陵小学校)⇒中止	△ △ △ △	BCPの観点から中止 BCPの観点から中止 BCPの観点から一部中止 BCPの観点から中止